



広南病院 脳血管内科 矢澤由加子

私のキャリアパス

2002年卒業後、脳梗塞診療に興味をもち福島県立医科大学脳神経内科に入局しました。2007年専門性の高い施設で学んでみたいと1年程度のつもりで広南病院脳血管内科へ異動しました。それまでカテーテル治療はもちろん脳血管撮影すら見たことがなかったので、赴任当初はかなり苦勞しましたが、内科外科を問わず多くの先輩方にご指導いただきました。脳梗塞の薬物治療や神経超音波に勤しんでいましたが、血栓回収デバイスが上陸した2012年のJSNET専門医試験を受けようと決心しました。ところが諸所の都合で受験は2013年ということになり、1年余裕ができたなら子供でもと1人目を出産しました。広南病院勤務中に産する医師は初めてとのことで、病院全体がとても気にかけてくださりご支援くださいました。出産後は実親、義理親に仙台に転居いただき、今も毎日の子守をお願いしています。1人目の産休明けにJSNET専門医を取得し血管内治療の経験をつみ、2人目が1歳になったとき社会人大学院生になりました。日々の診療でデータ理解や大規模データの取り扱いなど学びたいと思っていたので疫学講座で博士号を取得しました。若い頃はキャリアに遅れをとらないように、周囲に迷惑をかけないように、と焦りもありましたが、今は自分のできることしかできないのだから、仕事も家事も育児も無理せず頼れることはなるべくお願いしようと思うようになりました。これまで歩んできた道にあまり後悔はありませんが、若いうちに留学してみたかったなという思いは残ります。

今後の抱負、会員へのメッセージなど

若い頃は未来の出産やキャリアについて思い悩んだこともありましたが、現実には思い通りにはなりません。時がたてば自身の大切なものや目標も変化しますから、選択しなくてはならない「その時」決めたら良いと大きく構えていれば、キャリアも様々な形に広がっていくと思います。悩んだとき、辛い時は助けてもらったり、ちょっと立ち止まって休憩したらいいと思います。時には背伸びをしなくてはならない時もありますが、無理しすぎず長く続けられる道を選び、楽しく充実した仕事を続けていきたいと思います。私もダメ嫁、ダメ母と言われても、周囲に存分に甘えながらやりたい仕事を続けます。